



アジアの新しい窓を開く

KYOTO UNIVERSITY ASIAN STUDIES UNIT

京都大学アジア研究教育ユニット

中国の視点からみたグローバル発展： 現代中国のドキュメンタリーに描かれた世界史と国力 (中国語【日本語通訳つき】)

**Global Rise in Chinese Eyes: World History and National Power
as reflected in recent PRC Documentaries (in Chinese)**

講師：ゴータリンド・ミュラー=サイニ教授(ハイデルベルク大学)

Prof. Dr. Gotelind Müller-Saini (University of Heidelberg)

日時：2015年2月18日(水) 午後3時30分～5時

場所：京都大学文学研究科新館 地下大会議室



ドキュメンタリーは、近年、中国政府主導のメディアが、政府公認の歴史認識を提示するため、好んで用いる形式になってきた。しかも、それは中国のナショナル・ヒストリーに限られてはいない。中国史だけに自己中心的に熱をあげていた以前の状態とは全く対照的に、外国史への興味が急激に高まっている。中国の役割を、単に世界史において位置づけるだけでなく、現在また未来の国際舞台においても際立たせようという考えがそこには認められる。本講演では、最近の中国のテレビから、政府公認の見解を示した以下の3つのドキュメンタリー・シリーズをとりあげる。近代西洋の興起、ソビエト連邦解体の背景、未来における「中国の興起」を語るべく現代中国史に特定の読みを与えることを通じた現中国政府の合法化。これらのドキュメンタリーに焦点をあてることで、「歴史」がどのように画面上にあらわされるかを論じ、記憶文化や社会一般にとってビジュアルな歴史が果たす機能を探ってみたい。これにより、グローバルな枠組みによる中国史/外国史の提示が、公式発信されている「自己/他者」をめぐる見方にどうインパクトを与えているかを明らかにし、中国人自身がどのように「グローバル発展」を見ているかを考察したい。

使用言語：中国語

連絡先：平田昌司

shirata@bun.kyoto-u.ac.jp